

1/21
五旗

市民連合がシンポ

23日 東京で

「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」は、23日午後2時から4時半まで、東京都北区の「北とびあ・さくらホール」(JR王子駅北口下車徒歩2分)で、「2016年をどう戦い抜くか」をテーマにシンポジウムを開催します。俳人の金子兜太さんが連帯の言葉をのべ、哲学者で文芸評論家の柄谷行人さんが「憲法9条の今日的意義」と題して基調講演。学習院大学教授の青井未帆さん、上智大学教授の三浦まりさん、映画監督の森達也さん、シールズの諏訪原健さんの4人が「イヤな時代をどう押し返すか」と題してパネルディスカッションを行います。司会は法政大学教授の山口二郎さんです。市民連合は、安保関連法の廃止、立憲主義の回復、個人の尊厳を擁護する政治の実現をめざしています。2000万署名や街頭宣伝などを通じて、参院選に向けた野党共闘を促すとともに、候補の推薦や支援を行うとしています。